

SEIGAIHA

新潟産業大学報 青海波

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

2024 vol.37

特集

**2025年4月より
2学科6コース体制へ** (2024年2月現在
改組構想中)

1

CAMPUS TOPICS

3

部活動・サークル活動

5

図書館だより

6

授業紹介

7

キャリアサポート

9

地域とのつながり

11

ネットの大学managara

13

サンチャッカル通信

14

INFORMATION

15



新潟産業大学
Niigata Sangyo University



2025年4月より、 2学科6コース体制へ ～新たにスポーツ分野を導入～（改組構想中）

【コース制の導入】
新潟産業大学は、2025年4月より経済学部を、各学科3コースからなる教育体系に変更します。

【経済経営学科・3コースの特色】

① 「経済分析・経済予測コース」では、経済学とはどういった学問かを問いかける導入教育を実施する他、コース横断的な「アドバンスト・ケラス」を設け、コース担当教員の主導により公務員対策や大学院進学を支援します。

② 「企業経営・情報コース」では、これまでの起業を含む経営学に加え、生成AIやそれに伴う情報倫理など、情報化社会への対応を強化します。

③ 「企業会計・金融コース」では、従来からの会計学に加え、銀行や証券会社勤務を目指す講義を大幅に増やします。

【文化経済学科・3コースの特色】

① 「文化産業・国際文化コース」では、博物館学芸員の養成に加え、日本

が世界に誇るマンガ・アニメ文化の理解や、出版・広告業界への就職を意識しています。

② 「持続可能な地域づくりコース」では、旅行業務取扱管理者資格取得を目指し、旅行代理店勤務やツアー・コンダクターを育てます。また環境に配慮したまちづくりに取り組みます。

③ 「スポーツ・健康経営コース」は、アスリート系学生のニーズに応え、産学官連携で、高齢者や従業員の健康づくりを担う専門家を養成します。明るく元気な地域づくりの創出だけではなく、寝たきりを防止し、医療費削減といった経済効果をねらいます。

【出口重視の課題解決型教育】

両学科共に、卒業時に獲得すべき技術・能力を見据えたカリキュラム体系を備えるとともに、地域連携の強化による、現在求められている課題解決型教育の展開を目指していきます。

※コース名およびカリキュラムは2024年2月現在の構想です。変更となる可能性があります。

2025年4月スタートとなる6コース（2024年2月現在改組構想中）

学科名	コース名（仮称）	開講予定主要科目の例（仮称）	想定される進路の例
経済経営学科	①経済分析・経済予測	経済入門、ミクロ経済学、マクロ経済学、国際経済学	地方公務員（県庁・市役所等）、大学院進学、NGO
	②企業経営・情報	経営情報論、情報化社会論(AI)、マーケティング論、起業論	IT系企業、起業、地方公務員、運輸業
	③企業会計・金融	金融論、ファイナンシャル・プランニング、不動産管理論	銀行、保険、証券、日本郵政、J A、会計事務所
文化経済学科	①文化産業・国際文化	文化産業論、日本のマンガ・アニメーション 服飾産業論、博物館概論	アパレル業、出版、印刷、広告業、コンテンツ産業 博物館学芸員
	②持続可能な地域づくり	地域政策、まちづくり、SDGs入門、旅行業法 アグリビジネス論、食文化論、福祉住環境論	地方公務員（市役所等）、運輸業、観光・旅行業 ホテル業、アグリ事業、J A、飲食業、福祉施設
	③スポーツ・健康経営	スポーツ心理学、コーチング論、レクリエーション論 健康経営論、スポーツ栄養学	地方公務員（健康づくり・消防・警察） 中学校・高等学校教諭、スポーツ系企業、建設業 アスリート

※カリキュラムおよび科目名は変更となる可能性があります。

韓国 東新大学と連携協定を締結



協定書を取り交わす梅比良眞史学長(右)と李周禧総長

令和5年11月27日（月）、本学と韓国東新大学との交流基本協定に関する調印式が本学で行われ、梅比良眞史学長と李周禧（イ・ジュヒ）総長とが協定書に調印しました。
本学では韓国語や韓国の文化事情の授業を開講しており、受講学生の留学先確保を課題とする中、今回の東新大学との協定締結に至りました。
この協定の締結により、今後は交換留学生の相互派遣や、教育・研究を通じた国際交流の推進が期待されます。

本学梅比良眞史学長のコメント

「東新大学は留学生が多く在籍している。その国際性も生かしつつ交流を深めていきたい。人と人が両大を行き交うことが第一だが、我々の通信教育課程も補完的に使うことができる」

東新大学李周禧総長のコメント

「羅州市は人口12万人の地方都市で、韓国電力の本社がある。本学も地域との関係を大切にしている。学生、教職員が両国の文化を学ぶ機会をつくり、互いに見聞を広げていきたい」



学校法人岡山瀬戸内学園と連携協定を締結



協定書を取り交わす梅比良眞史学長(右)と本原康彦理事長

令和5年11月15日（水）、本学通信教育課程「ネットの大学managara」は、学校法人岡山瀬戸内学園（岡山県倉敷市、本原康彦理事長）と連携協定を締結し、調印式を執り行いました。

この協定の締結により、本学では学校法人岡山瀬戸内学園が運営する倉敷高等学校の生徒を対象に、次の2点を提供することとなりました。

①多様な学び方が広がる昨今、時間や場所に制約のない自由な学びを創造できる「managara」の学びのあり方を同校の生徒に知ってもらい、キャリア構築の一助とする。

②managara「地域イノベーターコース」にて展開しているラーニングジャーニー（地域創生プログラム）に、生徒が長期休暇等を利用して参加し、地方創生・地域貢献の視点を身につける。

※岡山県内には西栗倉村、和木町の二拠点を展開
今後本学では、「地域に学び、地域をおこす」人材育成を、新潟県内のみならず日本全国へと広げていきます。



祝！ 経済経営学科4年
水尻 天人さんが
日商簿記検定試験1級に合格！



令和5年11月19日（日）に実施された第165回日商簿記検定1級試験に、水尻天人さん（経済経営学科4年）が合格しました。

今回の試験は、受験者10251名に対し合格者1722名（合格率16.8%）という難関でした。水尻さんは昨年に続いて二度目の挑戦で見事合格を果たしました。

将来の目標を尋ねると、「公認会計士になることです。難しい試験ですが「自分なら必ず合格できる」と信じ、毎日勉強に励んでいます」と力強く答えてくれた水尻さん。
水尻さんの今後ますますのご活躍をお祈りしています。



ぎおん柏崎まつり「たる仁和賀パレード」に参加

7月25日（火）、柏崎市の夏の夜を彩る一大イベント、ぎおん柏崎まつり「たる仁和賀パレード」が4年ぶりに開催されました。本学も「地域に学び地域をおこす」をテーマに掲げ、運動部の学生たちが中心となり神輿担ぎに参加しました。

新型コロナウイルスの影響により、開催が3年間見送られた「たる仁和賀パレード」。今回が初参加という学生も多く、事前に行った神輿担ぎの練習や本番に向けた準備では、戸惑いや不安を口にする者もいました。しかし当日、いざ祭りがス



事前練習の様子



タートすると熱気に包まれた会場に学生も大興奮！「セイヤー」「サー！」と大きな掛け声をあげて神輿を担ぎ、会場を大いに盛り上げました。途中すれ違う各団体の神輿にエールを送るなど、祭りの雰囲気につきり溶け込んでいました。

柏崎市長の前で口上を務めた田中真由さん（4年）は、「たる仁和賀に参加して、参加者同士の交流はもちろん地域の方々とも交流ができて楽しかった。柏崎がひとつになって祭りを盛り

上げ、改めて地域の繋がりの大きさに感動した。また、学生代表として口上を述べ、貴重な経験をさせていたいただいた」と初めての「たる仁和賀」を充実した表情で振り返っていました。

参加した他の学生からも「地域の一員になった気がした」「来年も絶対に参加したい」などの声が聞かれ、自分たちが地域を盛り上げる一助となったことを肌で感じる機会となりました。

当日は、市民のみなさまから学生たちにはたくさんのあたたかい声援と拍手をいただきました。本当にありがとうございました。来年は地元柏崎をさらに盛り上げることができるよう準備を進めてまいります。



口上を述べる田中真由さん



第35回「紅葉祭」開催

10月14日（土）・15日（日）、本学キャンパスで第35回「紅葉祭」（学園祭）を開催しました。今年度は4年ぶりに一般開放での開催となり、多くの来場がありました。

今回のテーマは『黎明 reime』。『新型コロナウイルス流行の夜が明け、紅葉祭を自分たちの手で新たに作り上げ、多くの方々に楽しんでもらいたい』という学生の想いが込められていました。

お笑いライブやビンゴ大会、キッズダンス、コスプレコンテスト、軽音楽部ライブや吹奏楽部の演奏、茶道部によるお茶会、書道体験会や写真部のポストカード販売、ゼミナール発表会や展示、私の主張、文化講演会など数多くの企画を実施しました。一方飲食ブースでは、焼きそば、手羽元汁、焼き鳥

クレープ、たこ焼き、海鮮焼き、玉こんにやくなどこちらもさまざまなジャンルの18店舗が出店。中には行列の店もあり、とても賑わっていました。

また、柏崎



市の本学ならではの催しとして、講堂では国指定重要無形民俗文化財の「綾子舞」が披露され、とても見ごたえのある公演となりました。

開催したイベントを一部写真付きで紹介いたします。

「私の主張 in 産大」

モンゴル、中国、インドネシア、フィリピンからの本学留学生や市内の中学生が参加し、日本語と英語での発表がありました。母国語ではない言葉でも、堂々と自分の主張を発表する姿が印象的でした。



交換留学生 李建霖さん(中国)のスピーチ

「茶道部 お茶会」

茶席は季節に合わせたお花やお道具で設えられ、心を落ち着かせてお点前を披露していました。茶道の作法が分からない人にも部員が丁寧に教えていました。



来場者に見事なお手前を披露

「コスプレコンテスト」

学友会メンバーの強い要望により企画されたコスプレコンテスト。参加者は学内をコスプレで練り歩き、投票で結果が決まりました。優勝者は赤ずきんちゃんのコスプレをした6才の男の子でした。



司会者たちもコスプレ!?

「managara オフ会」

本学通信教育過程「managara」のオフ会も開催され、画面上ではなく対面で交流を行いました。全国から学生が集り、教員やスタッフと歓談が行われました。



和やかな雰囲気でお茶会

「ビンゴ大会」

ロボット掃除機やSwitch、大きなぬいぐるみなど、たくさんのお賞品が用意され、参加者は豪華賞品のゲットを目指して一喜一憂し、会場は盛り上がりしました。



「ビンゴ!」の音が会場のあちこちから!

住吉教授のオススメ本

『星の王子さま』
サン＝テグジュペリ(作)
内藤濯(訳)／岩波書店

小学生から大人まで、読む度に
感じるものが違います。高校時代、英語の授業で初めて読みました。「大切なことは目には見えない」は有名なフレーズです。私はtameという言葉の訳を今も気にしています。

先生方の
オススメの本を
教えてください

Part V

※本学図書館に所蔵されていない本は、公共図書館で借りることが出来ます。各図書館ホームページで検索してみてください!

蓮池教授のオススメ本

『死者宅の清掃』
キム・ワン(著)／蓮池薫(訳)
実業之日本社

韓国の特殊清掃員がみた孤独死の記録です。死を見つめることが、生きることへのヒントを授けてくれるというのが著者の思いです。

ある本の話

片岡直樹

『朱鷺の遺言』(中央公論社、一九九八年初版)という本がある。ノンフィクション作家・小林照幸氏が、朱鷺の保護活動に尽力する人々の姿を丹念に追った力作で、当時その中心であった佐藤春雄氏の事績に多くの紙数が割かれている。佐藤氏は佐渡の県立高校の教諭を務めながら毎日の早朝、朱鷺のいる田んぼに通い、草むらに隠れて遠くから朱鷺の観察を続けた。朱鷺は警戒心が強い。

朱鷺たちが飛び立つと田んぼに降りて糞を拾っては収集した。謎とされていた朱鷺の生態を知るためだ。これを来る日も来る日も毎日続けたというのだから、その情熱には圧倒される。朱鷺にはいわゆる朱鷺色と灰色の二種があるとする旧来の定説は誤りで、繁殖期に自らの黒い分泌物を羽毛に塗り付ける習性によって変色することを突き止めたのも市井の研究者である佐藤氏だ。

私は痛く胸をうたれ、ゼミの学生たちに話をしたところ、I君が「その佐藤春雄は私の祖父です。」という。私は奇縁とはこのことかと驚き、お祖父様の揮毫を乞うべく手元の本をI君に託した。

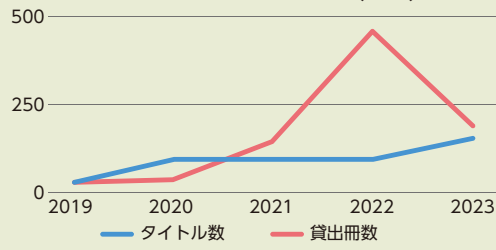
のちに本を携えてきたI君によると佐藤氏は「これは小林先生の著作だから私がサインして先生(片岡)に渡すわけにはいかない。ただ孫のお前宛てにはどうしてもよからう。お前がもらったものだからこれを先生に渡すのはお前の自由だ。」と仰ったという。一本筋の通った人というのはこういうものかと思っただ。

佐藤氏は二〇一四年に亡くなったと報道された。I君はかつての人文学部を〇一年に卒業した私のゼミの一期生だから、いま四四〜四五歳になっという。

佐藤氏によって墨色も鮮やかに二人の名前が記されたその本は、いまでも私の研究室の書架に大切に置かれている。

(新潟産業大学教授・図書館長)

本学の電子書籍の利用推移(参考)



【電子書籍「LibrariE」のご紹介】

本学図書館では、令和5年3月から「LibrariE」という電子図書館サービスを導入しました。先行で導入していた「Maruzen eBook Library」は、専門的な電子書籍を提供していましたが、この度導入した「LibrariE」は、一般書が中心です。このサービスの導入により、本学で利用できる電子書籍のタイトル数は200となりました。紙書籍と電子書籍の利用目的、長所・短所をそれぞれ意識しつつ、利用普及に努めてまいります。

(※学内者専用サービスです。)

電子書籍利用促進の取組み

電子書籍(学内利用者専用サービス)の認知度を上げるため、本学写真部とコラボしおりを作成しました。学生が撮影した写真を表側に使用、裏側には電子書籍へのアクセス方法をQRコードにして記しています。色の出方などほんの少しの差で、作品として表に出ることがかなわなかった、柏崎の花火や海辺地域の行事などを切り取った美しい写真がしおりになっています。カウンター前に置いてあります。電子書籍は学内向けの利用者サービスですが、しおりとして使用できますので、どなたでも自由にお持ち帰りください。



本学写真部の活動はこちらから↓



移動図書館「かれご文庫」事務室に設置しました

職員の図書館利用を促進しようと、学内移動図書館サービスを始めました。「かれご文庫」といいます。一階事務室内に棚を設置し、司書が選んだ紙の書籍20冊を配架しています。「業務のヒント、メンタルのセルフケア、コミュニケーションの潤滑油」というような書籍を」というコンセプトのもと、司書が毎月本を選定します。

本学の図書館は三階にあり、一階で業務を行う職員にとって、図書館は足を運びにくい場所にあります。それなら図書館を出前してしまおうという発想からかれご文庫は生まれました。

電子も便利ですが、重みや手触り、本の香りを感じられるのは、紙の本ならではの良さではないでしょうか。職員の日常にもプラス効果をもたらす存在になることができたら幸いです。

※かれごは本学が位置する軽井川(かるいかわ)の古称



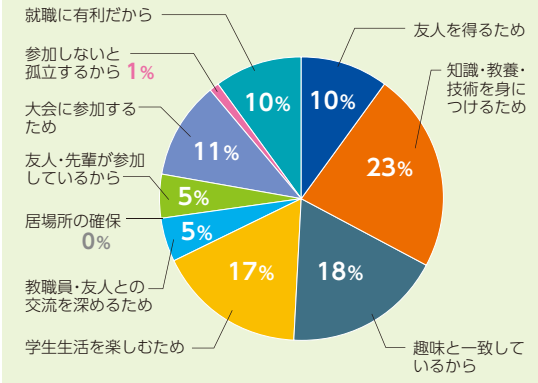
一般の方のご利用について

令和5年5月より、学外者利用を再開しております。ご入館の際にはカウンターの受付をお待ちいたします。ご来館をお待ちしております。

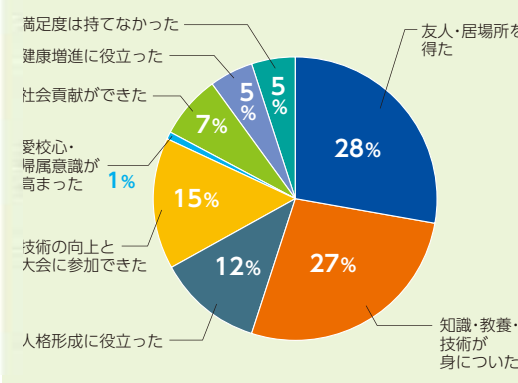
部活動 サークル活動

学務課では、令和5年10月に学生生活アンケートを実施しました。その中の部活動についての回答を一部紹介します。

Q 部活・サークルに参加している目的(2つまで)



Q 部活・サークル活動参加の満足度(2つまで)



回答では、部活動の参加目的として「知識・教養・技術を身につける」が最も多く、「学生生活を楽しみたい」の割合も多いことから、充実した4年間を過ごしたいという学生の希望がうかがえます。そして実際に参加した結果「友人や居場所を得た」「知識・教養・技術が身についた」と一定の充実感を感じているようです。

卓球部

全日本選手権大会に出場

10月8日(日)に上越市総合体育館で行われた「令和5年度新潟県硬式卓球選手権大会(会長杯)兼全日本予選会」において、新沢ほのか選手(経済経営学科2年)が女子シングルス第3位に入賞しました。この結果を受



水球部

インカレ出場

9月1日(金)から3日(日)の3日間、横浜国際プールにて日本学生選手権(インカレ)が開催され、本学からは男女両チームが出場しました。男子は目標としていたベスト8入りを果たすことができました。女子は終了時間まで懸命にプレーしましたが惜しくも初戦敗退となりました。



けて、令和6年1月22日(月)から東京体育館で行われた「天皇杯・皇后杯2024年全日本選手権大会」に出場しました。結果は残念ながら2回戦敗退となりましたが、今後のさらなる活躍に期待しています!

サッカー部

第47回総理大臣杯
北信越大会3位

5月27日(土)から6月24日(土)にかけて、第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会が開催され、本学サッカー部が3位になりました。残念ながら全国大会出場は果たせませんでしたが、この悔しさを糧に令和6年は飛躍を誓います!



基礎ゼミ紹介

初年次教育改革について

教授 阿部 雅明

令和5年度から、1年生の必修科目である「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」の内容が大きく変わりました。これまでのリメディアル中心の内容から、本学の教育目標である「自ら学び、自ら考え、自ら行動する自立（自律）した人」へ向けた第一歩となる科目として、将来社会で求められる「コミュニケーション能力」や「自分の考えをまとめ人に伝える力」、そして「チームで協働してプロジェクトを達成する力」を養うことを目的とした学習内容となりました。



みんなで挑戦「ヘリウムリング」

この基礎ゼミナールでの特徴的な学びの一つに、「クラスごとに秋の学園祭で出店する」という課題があります。出店するための企画立案、実施準備、学園祭当日の催しの運営を通じて、学生からも「コミュニケーション能力」や「協働する力」について「成長できた」、「自信が持てた」などの感想を得ています。



紅葉祭準備の様子

初年次教育改革では、学習内容の改革だけでなく、新入生のサポート体制も強化されました。基礎ゼミナールは、1クラスあたり学生が10から20名程度の少人数制の授業ですが、各クラスには担任教員に加え、職員による副担任「CLA（キャンパスライフ・

アドバイザー）、先輩学生による「SA（スチューデント・アシスタント）」が配置され、この三者で、各クラスの学生の学習面や生活面のサポートをします。
とくに2年生以上の先輩学生が務めるSAは、毎時間の授業に出席して1年生の学習をサポートしてくれま。そして、毎週の授業終了後は、全クラスの担任教員、CLA職員、SA学生が集まるスタッフミーティングで、各クラスでの出来事を共有し、学生が安心して学習を進め、学生生活を送ることができる環境づくりを目指しています。



紅葉祭後に行った発表会

上級生も共に成長

SA(スチューデント・アシスタント)を務めた学生の声

「自身の人間性や能力等の成長につなげられた。教職員の方と協力して仕事をする中で、自分の課題に気づくことができた」

「協働して学園祭に取り組んだ経験から垣根を超えた話し合いができるようになり、積極的に意見を言えるようになった」

「初見の状況で自分にどんな行動や発言ができるのかを分析することができた」



産大の授業をズーム！

「スポーツ産業論」
～発展が期待できるスポーツ産業～

教授 小黒 裕二

2023年度の「スポーツ産業論」(文化経済学科専門科目)は、原田宗彦編著『スポーツ産業論(第7版)』を参考図書とし、スポーツ産業についての理解を深める講義を行いました。

スポーツ産業とは、スポーツに関するさまざまな事業や活動の総称です。スポーツ用品の製造や販売、スポーツ施設の運営や管理、スポーツメディアや広告、競技や観戦、教育、指導、スポーツ医療、健康など、多岐にわたる分野が含まれます。講義では、明治時代にスポーツが学校体育として取り入れられて以降のスポーツ産業についての歴史の流れを理解し、これからのスポーツ文化の発展にスポーツ産業がどう関連するかを考察できるよう努めました。

スポーツは経済的な価値だけでなく、社会的な価値も生み出します。スポーツは人々の健康や幸福、コミュニケーションや交流、文化や芸術、平和や協力などに寄与するからです。

スポーツ産業は世界的に拡大する傾向にあります。国際オリンピック委員会(IOC)は、2016年の世界

のスポーツ産業の規模を約5100億ドルと推計しました。日本では、2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピックが、スポーツ産業の発展に大きな影響を与えました。政府は2025年までに日本のスポーツ産業の規模を15兆円にするという目標を掲げています。

コロナ禍による大会中止や無観客開催などを経験し、e-sportsの発展や中学校の部活動外部移行などを含め、今後のスポーツへの参加の形が大きく変化し、スポーツ産業はさらなる成長と多様化が期待される分野です。2024年度も、スポーツ産業のこれからを新たな視点から学生に考えてもらえるよう、最新の情報を交えながら講義を進めていきたいと思います。



教員をズームアップ！

令和5年度、新たに着任された先生をご紹介します。



雲居 陳之(講師)

簿記演習や財務諸表論などを担当。令和6年度からは企業会計分野の専門ゼミを担当します。



印象に残っている出来事は？

紅葉祭では、企画から運営まで学生たちが一丸となって盛大な学園祭を開催しました。小規模な本学にとって容易なことではありませんでしたが、新型コロナウイルス収束後の柏崎市に秋の美しさと更なる発展への自信をもたらしています。

大学で学んでほしいことは？

一つ目は、社会人になる前に社会で役に立つ実務的な能力や所作、財務に関する知識を身につけてほしいです。二つ目は大学の友達は一生ものですからサークルやアルバイトなどで交友関係を広げて、自分の幅を広げてください。



澁谷 朋樹(助教)

地域経済学や地域振興論などを担当。ゼミでは観光分野を担当しています。県外出身のため新潟県や柏崎市のことは初心者なので、学生と一緒に魅力探しからスタートしています。



印象に残っている出来事は？

4月から1年生向けの基礎ゼミナールが始まったことです。今年度から初年次教育改革が始まるというだけでも肩に力が入りましたが、着任して最初の講義だったのでかなり緊張したことを覚えています。

大学で学んでほしいことは？

大学生活を通して自分の研究テーマをみつめて、学生として主体的に学びを深めてほしいです。そのためにも、まずは様々なものに興味を持ち、積極的にチャレンジをしてください。

4年生の就職体験談

～後輩へのメッセージ～



経済経営学科4年
吉川 一生
(ハウステンボス 内定)

私は2年生の後半から就職活動を始めました。就職する業界は当初決まっていなかったが、「人を楽しませる場所で働きたい」という気持ちがありました。そのため人を楽しませる仕事ができるレジャーサービスマスターの企業を中心に、インターンシップや説明会に参加しました。早めに動いていたこともあり早期選考を受ける機会がありましたが、準備の時間が足りず上手くいきませんでした。この早期選考の失敗から、就職活動は事前準備が重要であると学びました。

3年生になりインターンシップの参加と並行して特に力を入れたのがエントリーシートです。あらかじめ書く内容はどの企業も殆ど同じであることは、事前の情報収集で知っていました。まず、テンプレートを作成し、約7社分はそれを元にエントリーシートを記入しました。力を入れていたこともあり、応募した企業は書類で落とされることはありませんでした。面接は練習も大事ですが、実際に本場の採用面接を受け、聞かれやすい質問を自身で分析することが重要だと思えます。面接とエントリーシートについて書きましたが、特に重要なのはSPIなどの筆記対策です。面接やエントリーシートはその



経済経営学科4年
鈴木 凜太郎
(青山商事 内定)

時のアドリブでなんとかありますが、学力は1週間程度の短期間では向上しません。1日5分でも10分でも時間を作って取り組んでください。就活をしていた当手を振り返ると、もつとSPIの勉強をすればよかったと後悔しています。

就職活動はどれだけ準備してきたかで大きく結果が変わります。有名な企業に就職したい場合はなおさらです。そのため自身が目指す進路に向けて一秒でも多くの時間を使って頑張ってください。

私が本格的に就職活動をスタートさせたのは、3年生の秋頃です。「本格的に」とは言うても合同企業説明会等に応募し、参加する程度でした。合同企業説明会は様々な職種・業種の企業が一堂に会する有意義な場です。しかし、数多くの企業から自分の興味のあるブーンスを絞って行かなければ徒勞に終わります。実際、私がそうであったように、参加する企業はどのような企業なのか、自分が興味のある職種・業種は何か、ということ調べていなかったため、成果は薄かったと感じます。さらに言えば、企業の採用解禁日である3月1日までに、そこに向けた十分な



文化経済学科4年
田中 真由
(柏崎市消防本部 内定)

準備をすることが重要だと感じました。私の就活に対するスタンスは、「自分になるべく負荷をかけないようにすること」でした。履歴書のペン書き、SPI検査、グループディスカッションなどは精神的にも疲れます。そのため、選考は面接重視で行う企業に絞って探しました。その結果、就活においては面接時の受け答えと企業研究に注力できました。他にも、同業他社と比較をしないで済むように志望企業を選びました。同じ業種間でライバル企業同士の選考を受けることは、入社意志を1社に対して忠実に表現したいと考える私にとって抵抗感を覚えたからです。こうした考え方もあり、同業他社との比較に費やす時間をなるべくカットしていました。極端な例ではありますが、自分の就活スタイルを見つけて、やりやすい形で進めていくと余裕が生まれると思います。

最後に、就職活動は慣れないことが多いです。疲れてしまうこともあります。そうした時にはしっかりと体を休めて、自分のやりやすい方法を探りながら進めていくと良いと思います。

私は2年生の中頃から「消防士になる」という夢の実現のため、大学での公務員対策講座や自主学習に取り組んでいました。疑問が出た際には、水球部の先輩に勉強会を開いていただき、また先生方に質問をしに行

き解決しました。クラブと公務員試験の勉強の両立は大変な時もありましたが、目標があるからこそ乗り越えられたと思います。3年生の3月に、合同企業説明会や民間企業の選考が始まり、焦りもありましたが、目標を明確にしていたことで、周りに流されず活動することができました。就職課の方と相談し、民間企業での就職活動と公務員試験を同時に進めていくことを決めました。まずは、自己分析や企業研究などに取り組み、就職課には毎週通い、履歴書の添削や面接練習をしていただきました。

民間企業は5月に内定をいただき、残すは公務員試験だけとなり、集中的に勉強しました。まず5月に消防以外の公務員試験を受けました。周囲の学生に圧倒され、これまで経験したことがない不安と緊張がありました。6月に本命である柏崎市消防の一次試験が行われました。筆記試験と体力試験を無事に乗り越え、一次試験を突破しました。二次試験、三次試験は面接試験でした。夢を掴みたい私は、就職課の方々はもちろん、学内の先生にお願いして面接練習をしていただき、どんな質問をされても臨機応変に対応できるように対策をしました。その甲斐あって、8月に三次試験に合格し、内定をいただくことができました。

就職活動は、なかなか思うようにいかない時もあるかも知れません。しかし、自分で決めた目標を諦めずに、悩みごとがあれば周囲の人に相談して頼ってください。努力は報われると信じて頑張ってください。

就職を取り巻く環境の変化と就職支援



コロナ禍からの経済活動の回復が進み、企業側の採用意欲の高まりと学生優位の売り手市場が鮮明になっています。2024卒を対象とした調査で、前年度よりも採用数を「増加する」と回答した企業は34.4%なのに対し、「減少する」とした企業は13.3%。「増減なし」と回答した企業は47.5%で、「増加する」とした企業と合わせて8割以上の企業が前年度以上の採用を計画しています。

また、採用選考の早期化も一層顕著です。「3月採用広報解禁、6月選考解禁」のルールは形骸化が進み、2024卒が対象の調査では、3月までに39.2%の企業が内定(前年度は33.2%)を出したと回答しています。そうした中で学生側に求められる準備は、入学後の早期段階で志望業種・職種の絞り込みと自己分析を進めること、3年次の早期からインターンシップに参加し、志望企業に接触することです。

求人に関する情報は年々増加し、企業側の採用形態の多様化や囲い込み(学生を自社に留ま

らせること)などの影響により、学生が採用側に流されやすい就活環境と言えます。その中で納得できる就職活動をするためには、「企業選びの軸を持つ」と、「自分の個性を理解する(自己分析)」ことです。

本学では、昨今の選考の主流であるハイブリッド型(オンラインと対面を併用)の採用に対応できるPC端末を拡充しています。さらに、県外の就職活動等で利用できるZoomでのキャリア面談などの機会も提供しています。

また、「キャリアデザイン」の授業と連携し、社会で活躍する卒業生から就活体験や企業選びの考え方を聞くことで、キャリア意識の啓発を図っています。

「あなたにとって働くとは何か」は、面接でもよく聞かれる質問ですが、その問いに真剣に向き合うことが「離職しない就職」への第一歩です。

ゼミ担任と就職担当の教職員が密に連携し、将来に向き合う学生を常にサポートしています。

令和5年度の就職内定状況

本学の就職内定状況 (令和6年2月7日現在)

		経済学部		
		男子	女子	合計
今年度	内定率 (%)	82.1	100.0	84.8
	内定者数	46	10	56
	上場企業内定率 (%)	11.4	11.1	11.3
	上場企業内定者数	5	1	6
	内定者数(自営他除く)	44	9	53
	就職希望率 (%)	96.6	100.0	97.1
就職希望者数		56	10	66
卒業予定者		58	10	68

注：外国人留学生・社会人を除く
内定率(%)＝内定者数÷就職希望者数
就職希望率(%)＝就職希望者数÷卒業予定者数
上場企業内定率(%)＝上場企業内定者数÷{全内定者数－公務員合格者数＋個人経営家業内定者数}

主な就職内定先 (令和6年2月7日現在)

業種	内定先企業名
農業・林業	(有)スカイファームおざき
建設業	(株)アップデート、(株)ほくつう、(株)氏田組、(株)元店建設、(株)立川電設
製造業	テイカ製薬(株)、櫻山工業(株)、森井紙器工業(株)、(株)ポテトデリカ、日佑電子(株)、(株)北星製作所、(株)丸真製作所、(株)ブルボン、(有)萬珍食品
情報通信業	(株)カシックス
運輸業・郵便業	トナミ運輸(株)、日本郵便(株)、山九(株)鹿島支店、マルソー(株)、中村陸送(株)
卸売業	(株)たかだ、昭和電機産業(株)、総合食品エスイー(株)三条営業所、渡辺パイプ(株)阪和工材(株)、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)
小売業	(株)クスリのアオキ、(株)ツルハ、ネットトヨタ新潟(株)、(株)インディオ富山日産プリンス新潟販売(株)、青山商事(株)、新潟日野自動車(株)、(株)コメリウエルシア薬局(株)
金融業・保険業	新潟県信用組合、柏崎信用金庫
不動産・物品賃貸業	(株)アクティオ
医療・福祉	(医)潤優会 松谷クリニック
複合サービス事業	松任市農業協同組合、十日町農業協同組合
生活関連サービス業・娯楽業	ワタナベグループ、ハウステンボス(株)、(株)ヤマウチ
宿泊・飲食サービス業	(株)じよんのび村協会
他に分類されないサービス業	新潟総合警備保障(株)、(株)エイジェック、二幸産業(株)
地方公務・国家公務	自衛官一般曹(陸上)、自衛官一般曹(海上)、柏崎市消防本部



地域貢献活動レポート

地域の課題に向き合い、交流の輪が広がった1年

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行した今年度、権田ゼミナール（まちづくり・地方行政分野）では、多方面の地域の方々から連携協力のお声かけをいただき、息つく間もないほど柏崎市内を飛び回った1年でした。6月の柏崎の風物詩「えんま市」や、10年目となる「たかだ竹あかり」などの恒例行事は4年ぶりに従来規模の開催となり、学生たちも活気あふれる空間づくりに尽力しました。

また、イベントに限定されない、より日常的な問題意識、課題解決につながる新たな交流の場面も大幅に増えました。柏崎青年会議所主催の「地方の虎」では、社会人の方と共に柏崎の移住、定住者を増やすためのアイデアを出し合い、最優秀賞のアイデアは市に提言され、具体化に向けて動き始めています。地域包括支援センターである「くらしのサポートセンターえきまえ」では、学生が講師となつてスマホ教室を開催し、大変好評をいただきました。今後、AI新交通「あいくる」の予約方法など、市内の高齢者向けサービスと連携した講座も予定しています。

他にも柏崎総合医療センターのPR動画制作や柏崎常盤高等学校2年生との交流学习など、柏崎で暮らすさま



えんま市に産大ブースを出店



学生が講師を務めるスマホ教室

ざまな世代の方との交流の輪が広がりました。地域の課題に真摯に向き合うことで学生自身も多くを学び、成長の機会をいただいています。

「えんま市」の経済効果を求める

黒岩ゼミナール（経済分析・経済予測分野）では、4年生を中心に「産業連関分析」という手法を使って、地域経済を分析する取り組みを行っています。「産業連関分析」はイベントなどの経済効果を計算するときに使われる手法です。

6月14日から3日間、柏崎の一大イベントである「えんま市」が開催されました。ゼミナールでは「えんま市の経済効果」を分析するという目標をたて、2日目に権田ゼミナールにも協力をお願いし、祭り会場で調査アンケートを実施しました。この日は多くの人出で賑わい、両ゼミナールのブースにもたくさんの方々が訪れました。アンケートを多数実施できただけでなく、地域の方々とも交流が深まりました。

アンケート配布の際には、謝礼として「風輪通貨」の配布も行いました。風輪通貨は阿部ゼミナールを中心に産大が展開している地域通貨の取組みですが、黒岩ゼミナールはそのサポートをしています。当日は受け取った風輪通貨をすぐに商店街で使われる地元の方々もいらつしやいました。地域通貨が柏崎の活性化に貢献できることを実感した一日でした。

後日、ゼミナールでアンケートをもとにデータの分析作業を進めました。その成果は2月に行われた「柏崎に関する研究」の発表会で発表しました。また今回のえんま市で

新潟産業大学附属柏崎研究所主席研究員

春日 俊雄

生涯学習事業・聴講講座のご案内

新潟産業大学「聴講講座」は、一般の方々や年齢や学歴に関係なく学生たちと一緒に大学の授業を気軽に受講できる制度です。

また、「生涯学習友の会」は、生涯学習事業を支援し、実り多い生涯学習の実現を図るとともに会員相互の親睦を深めることを目的とする会員制度です。

聴講講座の申し込みや友の会の入会は、毎学期初めに募集しておりますので、ご興味のある方はぜひお申し込みください。



公開セミナー「今求められる教育と地域連携の課題」



柏崎市コミュニティ推進協議会全体研修会で地域活動の視点について提案



筆者、前澤事務局員による提案

友の会年会費 一千元

※入会後、聴講講座受講料が1科目二千円引き

（通常1科目15週で一万円）

【お問い合わせ先】

新潟産業大学地域連携センター事務局
TEL: 0257 (24) 8441
e-mail: renkei@ada.nsu.ac.jp



えんま市での調査活動



アンケートと風輪通貨

弥彦小学校モンゴル国際セミナーに参加しました
弥彦小学校では弥彦村がモンゴル国にあるエルデ村と国際交流を行っていることもあり、児童へモンゴルの理解を深めてもらうことで国際感覚やコミュニケーション能力の向上を図っています。
10月に同小学校で行われたモンゴル国際セミナーに、留学生のガントルガエンフトグルドルさん（モンゴル出身）が講師として参加。母国での生活や文化について話をしたあと、子ども向けの遊びを児童と一緒に興じ、異文化を学びました。



弥彦小学校での交流事業

ネットの大学 managara レポート

講義をはじめとする大学生活のすべてがフルオンラインで完結する「ネットの大学 managara（経済学部経済経営学科通信教育課程）」は開設より3年目を迎え、900名を超える学生が全国各地でそれぞれのライフスタイルに合わせて学びを進めています。

今回は今年度のトビックスのほか、managaraの自由度を活かして海外インターンシップコースで海外進出に向けて積極的に活動している学生のインタビュー記事をご紹介します。

トビックス

オンライン交流会を実施

managaraでは、定期的にオンライン交流会を実施しています。今年度は第1回に東京・池袋のmanagara B A S E 池袋で開催。学生や教員同士の交流会やたこ焼きパーティーなどを行い、実際に会えたことを互いに喜びながら楽しい時間を過ごしました。

第2回は昨年同様、新潟産業大学内で開催。全国各地から学生たちが集まり、キャンパスツアーや教員も交えたランチ会などを楽しみました。同日に開催されていた通学課程の学園祭「紅葉祭」を見て回る時間もあり、通学課程の学生とも交流することができました。

第3回は大阪・梅田のanagara B A S E 梅田で開催。managara B A S E の明るく開放的な空間に、学生や教員たちも非常にリラックスしながら時間を過ごしました。

オンライン交流会を開催することで、実際に顔を合わせて話ができ、交流関係も広がることで、日々の学修のモチベーションにも繋がったようです。



NEW!

『サンチャッカル通信』

新潟産業大学マスコットキャラクター・サンチャッカルが贈る新コーナー『サンチャッカル通信』。

ボクが誕生して今年で19年。そう、今年入学の大学1年生と同年ちゃっかる！

これから産大をメジャーにするため、情報をチャッカルと発信していくよ。みんな応援してほしいちゃっかる！

着ぐるみ登場！

昨年10月某日、学友会に大きな荷物が届きました。メンバーがドキドキしつつ箱を開けると……中からはサンチャッカルの着ぐるみ！今年はいくつものところに出没する、かも!?

【PROFILE】
サンチャッカル
(二代目)

2005年に産大マスコットとして誕生。この姿は令和版の二代目。夢の国のアヒルに似ているがれっきとしたカモメ。性格はのんびり屋だけど意外に物知り。口癖は「ちゃっかる」。



も、もちろん中には人は入っていません(汗)

「まずは自己紹介」

ボクの名前は
サンチャッカル



新潟県
柏崎市出身、



相撲部屋：
じゃなくて
産大マスコット
ちゃっかる。



応援4649
ちゃっかる！



このコーナーでは、みなさんから、サンチャッカルへのお便り、質問をどしどし募集いたします。また大学のHPやXも、併せてチェックしてみてください！【宛先：入試課サンチャッカル通信係】

新潟産業大学基金 ご支援のお願い

皆さまからの温かいご支援をお待ちしております。

新潟産業大学では、皆さまからの温かいご支援(ご寄付)による学生の学び環境の向上を目指しております。

寄付金は3,200万円を目標額としており、老朽化が著しいマイクロバス入れ替えの購入資金や、本館トイレ改修工事費、学生ラウンジやA号館大教室(221、222教室)のエアコン入れ替えに活用させていただきます。皆さまからの温かいご支援の一つひとつが教育を支える力となり、学生生活を豊かにすることに繋がります。ご支援に賛同いただける方は、下記のQRコードよりお手続きをお願いいたします。【寄付金のご応募は任意です】

寄付金窓口QRコード



平成21年購入
マイクロバス
走行距離
約27万Km(2024.2時点)
エアコン故障・修理不能

学生ラウンジ
GHPエアコン故障



managaraDays — 学生の声 —

ネットの大学 managara で学ぶ学生の声をご紹介します！

山本 大輝さん(海外インターンシップコース)

※海外インターンシップコース：大学卒業に必要な学びはオンラインで行い、自由な時間で海外インターンシップに挑戦するコース。

プロフィール

通信制高校を卒業後、海外インターンシップコース生としてネットの大学managaraに入学。山本さんは地元の学習塾でサポートを行いながら、叔父の紹介でIT企業の取締役としても活動。海外で活躍できる人材を目指して、フィジーへのインターンに向けて日々準備を進めています。(2023年11月取材当時)

Q.managaraに入学したきっかけを教えてください

A.高校3年生のときに高校の先生に紹介してもらいました。海外留学を考えていたのですが、新型コロナウイルスの影響で諦めてしまっていました。その時に当時の先生に紹介してもらい、留学とはまた別のかたちで海外に触れられるのが良いと思ったのがきっかけです。将来、経営者になりたいと考えている自分には経済・経営が学べるmanagaraはぴったりでした。

Q.海外インターンシップコースはいかがですか？

A.入学してまだ半年と少しなので、まだ準備中ですが海外の会社の人と話したり、コースの講師の方が社会についてどんなことを考えているのかを知れて、すごく勉強になります。社会課題の解決に興味があって、フィジーがどのような社会課題を持っているのか、それをどうすれば解決できるのかなど、現地の人と話をしてフィジーと日本を繋げたい、という想いがあります。

Q.将来はどのような人になりたいですか？

A.具体的な自分の姿はまだはっきりと思い描けているわけではありませんが、教育や社会課題を軸に世界で活躍する人材になりたいです。教育に関心をもったのは、高校の時に自分の好きなことを学べる環境がもっとたくさんあると良いなと思ったことがきっかけでした。社会課題に関しては、ニュースでよく耳にするSDGsが世界中で取り組まれている大事なゴールであることを理解したことで、自分も今後の未来のために何かできることがあるなら手助けしたいと思ったのです。

メッセージ

managaraに入学すると、自分の可能性を見出したいと思っている人はきっと新しい道が拓けるとおもいます。通信制大学の良いところは様々な年代の方や色々な価値観を持っている人より多く出会えるところです。専門的な学業に取り組みたいという学生だけではなく、既に色々な経験をしてきた人たちの考え方や知識に触れることができるのはmanagaraならではのと思っています。

過去のmanagara
生出演はこちらから

managara生がラジオ「CLUB CEO」に出演
interfmのラジオ番組「CLUB CEO」とコラボレーションし、学生がラジオ出演しています！番組のコンセプトは「経営者とZ世代による『未来創造会議』」。Z世代が日本を彩る経営者から生き方や仕事観などを学ぶ一方、経営者はZ世代から今と未来を学びます。
番組ではZ世代代表として、managara生が出演しています。
この日はmanagaraベシックコース2年生の高橋昂さんが、長谷虎紡績株式会社の長谷享治社長と対談。普段趣味でアートを制作している高橋さん。社長との対談を経て「自分を見つけてくれる人を信じて発信し続けることの大切さを学んだ」と話してくれました。

第3回managara祭(学園祭)を開催

今年度のスローガンは「彩り彩られ」。彩り、は「おもしろみや華やかさを付け加える」という意味があり、参加してくれた人にもたくさん盛り上がりしてもらい、皆で、皆にとつておもしろく、華やかな学園祭にしようという想いを込めたスローガンでした。

今回の学園祭は、企画から運営まで学生チームが主体となつて動いてくれました。

今年のゲストは女優・タレントのいとうまい子さん。いとうまい子さんには、通信制大学への進学や学業との両立、壁の乗り越え方などをお話いただきました。
『感謝の木を作ろう』のコーナーでは、日々の感謝の気持ちを互いに伝え合いました。たくさんさんの感謝の言葉が集まり、とても温かい時間となりました。
managara祭は当日、YouTubeからご覧いただけます。来年のmanagara祭もお楽しみに。

managara Days
続々更新中!

こちらから
ご覧ください



オンラインでオープンキャンパスを開催しています。
詳細はホームページをご覧ください。
お問い合わせ先「ネットの大学 managara 教育相談室」
Tel : 0120 (836) 047
E-mail : managara_nyushi@ada.nsu.ac.jp



INFORMATION

学生広報チームが SNSで情報発信!

ゼミや部活動、学内外のイベントなど、学生が日々取材に飛び回ります!

学生の視点から産大の魅力をXやInstagramで発信していますのでぜひご覧ください。



春のオープンキャンパスを開催!

最新の産大情報とお土産を用意して、皆さんの参加をお待ちしています!

2024.3.20 (水・祝)
10:30~13:00

【プログラム】学部・学科の魅力を説明、入試・奨学制度の説明、在学生によるキャンパスツアー、フリートークなど



※実施内容は変更となる可能性がございます。詳細は大学HPをご覧ください。



お申し込み・お問合せ ☎ 0120-787-124 (入試課)



表紙の写真「黄昏の頃」

(撮影場所：鵜川河口付近にて)

表紙の写真は、本学写真部の本田翔大さん(文化経済学科2年)の投稿作品です。

秋の夕暮れ、友人と海を見に行った時に何気なく撮影した一枚ですが、夕日が沈む海を眺めながら物思いにふける様子が伝わります。

「僕は何者で、何になるんだろう・・・」。とりとめのめないことを考えるひととき。

若い皆さんも、そしてかつて若かった皆さんも、きっとこんな経験があるのではないのでしょうか。

学事日程 (2024年4月~9月)

月	日	行 事 等
4月	3日(水) 3日(水)~7日(日) 4日(木)・5日(金) 8日(月)	入学式 履修登録期間(新入生) ガイダンス・健康診断 授業開始
5月		
6月	2日(日) 15日(土)	創立記念日 個別面談・父母の会総会(予定)
7月	15日(月) 25日(木) 29日(月)・30日(火) 31日(水)~8月6日(火)	祝日授業日 地域理解ゼミナール合同発表会(2年生) 補講日 春学期定期試験期間
8月	7日(水) 8日(木) 13日(火)~15日(木) 19日(月) 19日(月)~9月6日(金)	試験予備日 学生夏季休業開始 お盆窓口業務休業日(予定) 追試験 集中講義期間
9月	3日(火) 15日(日)~19日(木) 20日(金) 23日(月) 30日(月)	秋学期卒業生発表・成績発表 履修登録期間 授業開始 祝日授業日 9月卒業式



青海波 (せいがいは)

無限に広がる穏やかな波に未来永劫と平和な暮らしへの願いが込められた文様。

この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章(3つの波)に重ね合わせ、地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

発行 日/令和6年2月

編集・発行/新潟産業大学 新潟県柏崎市軽井川4730番地

TEL0257-24-6655 FAX0257-22-1300 <https://www.nsu.ac.jp/>